

小規模企業の景況

(2026年4～6月期)

大阪商工会議所による小規模企業の景況調査(四半期毎)2026年4～6月期の結果概要は以下の通り。今期(2026年4～6月期、調査基準日:6月1日)の業況判断DIは▲15.0(前回調査▲12.5)となり、4期ぶりに低下した。売上額DI値は▲4.7(前回調査▲8.2)、資金繰りDI値は▲12.2(前回調査▲13.7)、従業員数過不足DI値は▲14.6(前回調査▲16.0)と改善が見られた。「経営上の問題点」では、「仕入単価の上昇」が小売業で16期連続、卸売業で9期連続の第1位となり、製造業でも「原材料価格の上昇」が第1位に浮上した。また、サービス業でも「利用者ニーズへの対応」や「材料等仕入れ原価の上昇」が課題として上位に挙がっており、全業態でコスト上昇への懸念が強く表れている。

1. 今期(2026年4～6月期)の状況

【業況判断】今期の業況判断DI(全産業)は、前回調査(▲12.5)から2.5ポイント低下し、▲15.0となった。業種別では前回調査から、製造業が1.0ポイント上昇し、卸売業が1.3ポイント、小売業が10.2ポイント、サービス業が0.1ポイントそれぞれ低下した。

【売上額】今期の売上額DI(全産業)は、前回調査の▲8.2から3.5ポイント上昇し、▲4.7となった。業種別では前回調査から、製造業が6.7ポイント、卸売業が0.2ポイント、小売業が3.4ポイント、サービス業が2.8ポイントそれぞれ上昇した。

【資金繰り】今期の資金繰りDI(全産業)は、前回調査(▲13.7)から1.5ポイント上昇し、▲12.2となった。業種別では前回調査から、製造業が6.4ポイント、小売業が7.1ポイントそれぞれ上昇し、卸売業が4.9ポイント、サービス業が3.2ポイント低下した。

【従業員数過不足】今期の従業員数過不足DI(全産業)は、前回調査(▲16.0)から1.4ポイント上昇し、▲14.6となった。業種別では前回調査から、製造業が8.8ポイント、サービス業が7.2ポイントそれぞれ上昇し、卸売業が8.5ポイント、小売業が5.0ポイントそれぞれ低下した。

2. 来期(2026年7～9月期)の予想

来期(2026年7～9月期)の全産業の予想DIは、業況判断は▲16.5、売上額▲5.1、資金繰り▲15.7となった。

3. 経営上の問題点

製造業で「原材料価格の上昇」、卸売業・小売業で「仕入単価の上昇」、サービス業で「利用者ニーズへの対応」が第1位となった。

※DI値とは……ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、本調査では前年同期(2025年1～3月期)と比較して売上額、業況判断、資金繰りなどが「増加」「好転」したなどとする企業割合から、「減少」「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

【調査の概要】

- ・調査名：第184回中小企業景況調査（中小企業庁・中小企業基盤整備機構）
 - ・調査時期：2026年5月21日～6月8日（前回：2026年2月17日～3月8日）
 - ・調査方法：経営指導員による、調査票に基づく聴取り調査
 - ・調査対象：大阪市内の中小企業・小規模事業者
 - ※ 全国18,825件中（商工会議所調査対象7,966件）、大阪商工会議所分324件。
 - ※ 本紙では、大阪商工会議所分のうちとくに小規模事業者（従業員：製造業20人以下、商業・サービス業5人以下）254件について取りまとめた。
- 〔製造業71件、卸売業58件、小売業58件、サービス業67件〕

■DI推移（全産業）

	181回調査	182回調査	183回調査 (前回)		184回調査 (今回)	
	2025年(R7) 7～9月期	2025年(R7) 10～12月期	2026年(R8) 1～3月期	2026年(R8) 4～6月期 予想	2026年(R8) 4～6月期	2026年(R8) 7～9月期 予想
業況（好-悪）	-23.2	-17.4	-12.5	-10.5	-15.0	-16.5
売上額（増-減）	-18.0	-17.8	-8.2	-4.3	-4.7	-5.1
資金繰り（好-悪）	-18.7	-16.2	-13.7	-8.6	-12.2	-15.7
従業員（過-不）	-12.7	-15.4	-16.0	-	-14.6	-

■経営上の問題点

順位	製造業	件数	卸売業	件数	小売業	件数	サービス業	件数
1位	原材料価格の上昇 ↑	28 (12)	仕入単価の上昇 →	29 (20)	仕入単価の上昇 →	14 (15)	利用者ニーズへの対応 ↑	13 (7)
2位	需要の停滞 ↓	9 (14)	需要の停滞 →	7 (11)	需要の停滞 →	8 (10)	材料等仕入単価の上昇 ↑	9 (7)
3位	生産設備の不足・老朽化 ↓	8 (12)	メーカーの進出による競争の激化 →	4 (5)	消費者ニーズの変化への対応 →	6 (6)	人件費の増加 ↓	8 (10)
					販売単価の低下・上昇難 ↑	6 (5)	需要の停滞 ↓	8 (8)

〔注〕（ ）内は前回（2026年1～3月期）調査結果

↑＝前回より高順位

→＝前回と同順位

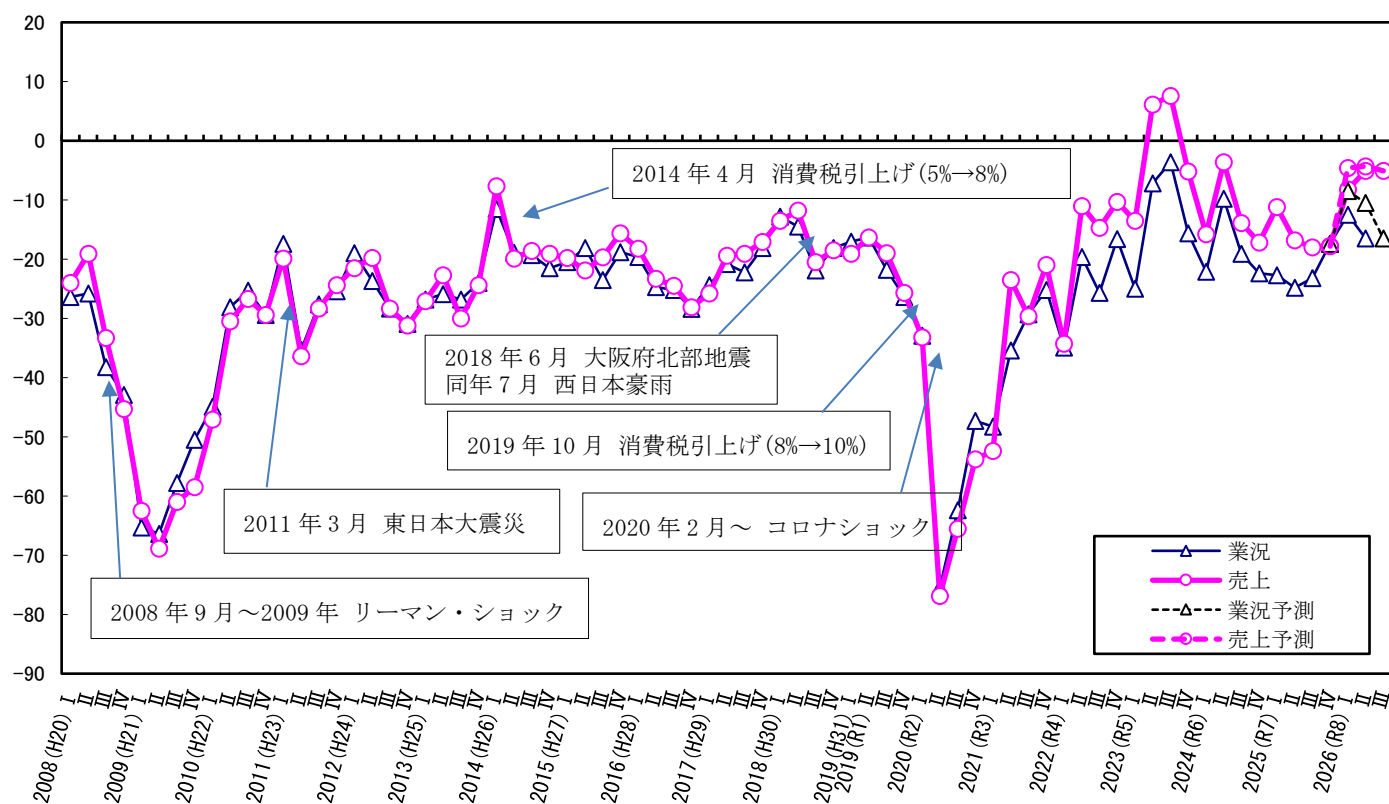
↓＝前回より低順位

■ 状況比較表（業種別）

項目	業種	今期の状況(4～6 月期)				前回(1～3 月期)からの推移	来期の予想(7～10 月期)			
業況		好転	不変	悪化	好－悪		好転	不変	悪化	好－悪
	製造業	16.9	57.7	25.4	▲ 8.5	1.0	12.7	59.2	26.8	▲ 14.1
	卸売業	12.1	51.7	36.2	▲ 24.1	▲ 1.3	10.3	53.4	29.3	▲ 19.0
	小売業	17.2	48.3	34.5	▲ 17.2	▲ 10.2	15.5	51.7	32.8	▲ 17.2
	サービス業	13.4	61.2	25.4	▲ 11.9	▲ 0.1	16.4	49.3	32.8	▲ 16.4
	合計	15.0	55.1	29.9	▲ 15.0	▲ 2.5	13.8	53.5	30.3	▲ 16.5
	前回	17.6	51.2	30.1	▲ 12.5		15.4	58.3	23.9	▲ 8.5
売上額		増加	不変	減少	増－減		増加	不変	減少	増－減
	製造業	25.4	47.9	26.8	▲ 1.4	6.7	19.7	50.7	29.6	▲ 9.9
	卸売業	22.4	43.1	34.5	▲ 12.1	0.2	25.9	43.1	31.0	▲ 5.2
	小売業	32.8	36.2	29.3	3.4	3.4	24.1	46.6	27.6	▲ 3.4
	サービス業	25.4	40.3	34.3	▲ 9.0	2.8	23.9	50.7	25.4	▲ 1.5
	合計	26.4	42.1	31.1	▲ 4.7	3.5	23.2	48.0	28.3	▲ 5.1
	前回	25.8	40.2	34.0	▲ 8.2		24.3	46.3	29.0	▲ 4.6
資金繰り		好転	不変	悪化	好－悪		好転	不変	悪化	好－悪
	製造業	7.0	77.5	15.5	▲ 8.5	6.4	5.6	80.3	12.7	▲ 7.0
	卸売業	5.2	72.4	22.4	▲ 17.2	▲ 4.9	5.2	67.2	27.6	▲ 22.4
	小売業	13.8	63.8	19.0	▲ 5.2	7.1	3.4	72.4	20.7	▲ 17.2
	サービス業	3.0	76.1	20.9	▲ 17.9	▲ 3.2	6.0	70.1	23.9	▲ 17.9
	合計	7.1	72.8	19.3	▲ 12.2	1.5	5.1	72.8	20.9	▲ 15.7
	前回	7.8	69.1	21.5	▲ 13.7		8.5	70.7	20.1	▲ 11.6
従業員		過剰	適正	不足	過－不					
	製造業	4.2	73.2	21.1	▲ 16.9	8.8				
	卸売業	0.0	81.0	15.5	▲ 15.5	▲ 8.5				
	小売業	0.0	72.4	15.5	▲ 15.5	▲ 5.0				
	サービス業	6.0	73.1	16.4	▲ 10.4	7.2				
	合計	2.8	74.8	17.3	▲ 14.6	1.4				
	前回	2.3	72.7	18.4	▲ 16.0					

「今期の状況（除従業員）」は2026年4～6月期状況であり、前年同期の2025年4～6月期との比較。来期の予想は2026年7～10月期予想であり、2026年7～10月期との比較である。「前回」欄は2026年1～3月期調査の数字。従業員は、過去との比較ではなく、業務量に照らした過不足。

■景況グラフ（売上額・業況）



※表示値＝D I（増加・好転－減少・悪化）値

※Ⅰ期＝1-3月、Ⅱ期＝4-6月、Ⅲ期＝7-9月、Ⅳ期＝10-12月

※2026年Ⅱ期予想値